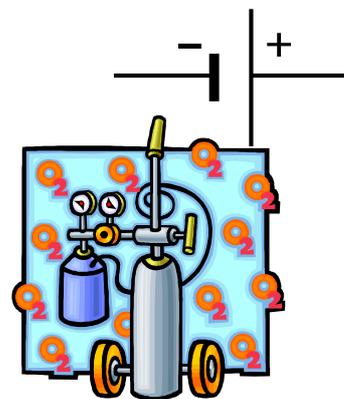


天然ガスの水素と空気中の酸素で発電

おしゃべりサロン「相互塾」

(第74回) <入場無料>



若いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！

環境にやさしい、新しい電池 ～家庭にも燃料電池が！～

日 時：平成18年3月27日（月） 午後7時～9時

場 所：調布市総合福祉センター 4階 視聴覚室（グリーンホール南隣）

語り手：由川敬之さん 東京ガス学校コウディネーター

昨年2月に京都議定書が発効され、わが国は、温室効果ガス排出量を1990年比6%削減することを義務付けられています。将来に向けた持続可能な経済社会づくりが地球規模で求められている中、21世紀のエネルギー供給は、様々な新技術の組み合わせによって行われていくべきと考えられています。

新技術、新エネルギーで、本格的な実用化が期待されているものの一つとして「燃料電池」があります。燃料電池の原理は水の電気分解の逆、つまり、水素と酸素を化学反応させることにより電気を作り出すという、いたってシンプルなものであり、発電の際にCO₂を排出しないことから環境面でも非常に有効であると考えられています。東京ガスでも燃料電池の研究・開発を継続的に行っており、昨年2月には家庭用燃料電池を市場投入しました。

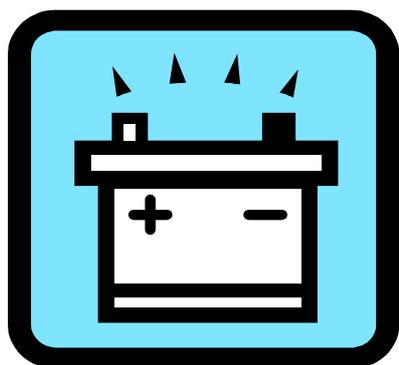
地球温暖化のしくみと現状、燃料電池の概要と家庭用燃料電池の今後の展開などについて、小中学校向けに行っている出張授業用の教材を使いながらお話ししたいと思います。

【終了後懇親会(参加自由、実費2千円前後)を行います】

主 催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

連絡先：森下 政信 (TEL&FAX 83-9993)

E-mail mmasanob@sepia.ocn.ne.jp



(ウラへ続く)